タジキスタン通信

Vol. 1 （2025.6）

アッサローム　アレイクム！（こんにちは）

JICA 海外協力隊 2024 年２次隊日本語教育の和田 衣世と申します。　昨年 11 月末から中央アジアのタジキスタンに派遣されました。これまで、さまざまな国で日本語教師として活動しましたが、中央アジアは初めてなのでワクワクしています。今は首都ドゥシャンベの中心部にあるロシア・タジク・スラブ大学で第二外国語としての日本語を教えています。

みなさんはタジキスタンがどこにあるか、どんな国かご存じでしょうか。タジキスタンは旧ソ連邦中央アジア５か国の一つです。同じ中央アジアのウズベキスタン、キルギス、そしてアフガニスタン、中国とも隣接しています。

人口は約 1000 万人、首都はドゥシャンベです。公用語はタジク語（ペルシャ語と同系統の言語）ですが、ロシア語も広く理解されます。文字はロシア語と同じキリル文字が使用されています。主な宗教は他の中央アジア諸国と同じくイスラム教です。そのため、ラマダン（ラマザン・断食月）もあります。今年は３月、まるまる一か月間行われました。

大学で行われたマスレニッツァのイベント

昨年 11 月末にタジキスタンでの隊員活動が始まり、早半年が過ぎました。この間、さまざまな行事がありました。わたしの配属先は半分ロシアの大学でもあるので、ロシアのお祭りマスレニッツァを祝い、３月８日の国際女性の日には母に感謝を伝えるコンサートがあり…。

しかし、いちばん盛大なのは、なんといってもナウルーズ（ナブルーズ）。　「新しい日」を意味するこの日は、日本では春分の日にあたりますが、こちらでは春の訪れを告げる大切な祝日です。会社や官公庁、教育機関なども前後約一週間の休暇となります。それぞれの学校や大学などでナウルーズを祝うイベントが開催されました。

大学中庭のコンサート

これからもこの通信を通してタジキスタンの魅力を伝えていきたいと思います！

クラスごとに料理をならべます

市内中心の広場にあるナウルーズ 2025 撮影スポット